



AsyncOS 12.5 for Cisco Web Security Appliances - API スタートアップガイド

初版：2020年9月24日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

Cisco Web セキュリティアプライアンス向け AsyncOS API の概要 1

AsyncOS API 使用の前提条件 1

AsyncOS API の有効化 2

AsyncOS API との安全な通信 3

AsyncOS API の認証と認可 3

 認証 3

 JSON Web トークンを使用した API クエリの認証 3

 認可 5

AsyncOS API の要求と応答 6

 AsyncOS API 要求 6

 AsyncOS API 応答 7

 応答の主要なコンポーネント 7

 HTTP 応答コード 8

AsyncOS API 機能 9

第 2 章

Web 用 API 11

レポート API 11

 API データと Web インターフェイスデータの比較 13

 例 13

 カウンタの 1 つの値を取得する 14

 カウンタの複数の値を取得する 15

 カウンタ グループ内の各カウンタの 1 つの値を取得する 16

 複数のカウンタの複数の値を取得する 16

 各カウンタの複数の値を使用して複数のカウンタの複数の値を取得する 17

スケジュールおよびアーカイブ API 19

 スケジュール API 20

 例 23

 アーカイブ API 28

 例 30

トラッキング API 35

 プロキシサービス 35

 レイヤ 4 トラフィック モニタ 38

 SOCKS プロキシ 39

第 3 章

汎用 API 43

 SMTP リレーホストの詳細の取得 43

 新しい SMTP リレーホストの追加 44

 SMTP リレーホストの詳細の変更 45

 複数の SMTP リレーホストの削除 46

 すべての SMTP リレーホストの削除 47

 ユーザ ロールにアクセス可能な API の取得 47

第 4 章

AsyncOS API のトラブルシューティング 49

 API ログ 49

 アラート 49



第 1 章

Cisco Web セキュリティアプライアンス向け AsyncOS API の概要

Cisco Web セキュリティアプライアンス向け AsyncOS API (または AsyncOS API) は Representational State Transfer (REST) ベースの一連の操作で、Web セキュリティアプライアンスレポート、レポートカウンタ、トラッキングへのセキュアで認証済みのアクセスを提供します。APIを使用して、Web セキュリティアプライアンスのレポートおよびトラッキングデータを取得できます。このリリースでは、設定情報をクエリできます。



(注) シスコのコンテンツセキュリティ管理アプライアンスと REST API を使用して、Web セキュリティアプライアンスを設定できます。両方の方法を使用して Web セキュリティアプライアンスを設定すると、以前の方法で行った設定が上書きされます。

この章は、次の項で構成されています。

- [AsyncOS API 使用の前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [AsyncOS API の有効化 \(2 ページ\)](#)
- [AsyncOS API との安全な通信 \(3 ページ\)](#)
- [AsyncOS API の認証と認可 \(3 ページ\)](#)
- [AsyncOS API の要求と応答 \(6 ページ\)](#)
- [AsyncOS API 機能 \(9 ページ\)](#)

AsyncOS API 使用の前提条件

AsyncOS API を使用するには、次の知識が必要です。

- HTTP。API トランザクションに使用されるプロトコル。TLS 経由で保護された通信。
- JavaScript Object Notation (JSON)。API がリソースの表記作成に使用。
- JSON Web Token (JWT)。

- cURL など、HTTP や HTTPS を使用して AsyncOS API に対して要求の開始と応答の受信を行うクライアントまたはプログラミングライブラリ。クライアントまたはプログラミングライブラリは、API からの応答を解釈できるように JSON をサポートする必要があります。
- AsyncOS API へのアクセスの許可。 [認可 \(5 ページ\)](#) を参照してください。
- Web インターフェイスまたは CLI を使用して有効化されている AsyncOS API。 [AsyncOS API の有効化 \(2 ページ\)](#) を参照してください。

AsyncOS API の有効化

はじめる前に

CLI で `interfaceconfig` コマンドにアクセスできることを確認します。CLI へのアクセスが許可されるのは管理者、電子メール管理者、クラウド管理者、およびオペレータのみです。

CLI で `interfaceconfig` コマンドを使用すると、AsyncOS API を有効にできます。

ステップ 1 CLI にログインして `interfaceconfig` コマンドを実行します。

ステップ 2 編集するインターフェイスを選択します。

ステップ 3 AsyncOS API (モニタリング) HTTP を有効にするための次の質問に回答します。

- Do you want to enable AsyncOS API (Monitoring) HTTP on this interface? [Y]> Y を入力します。
- Which port do you want to use for AsyncOS API (Monitoring) HTTP?[6080]> デフォルトのポート 6080 か定義するポートを入力します。

ステップ 4 AsyncOS API (モニタリング) HTTPS を有効にするための次の質問に回答します。

- Do you want to enable AsyncOS API (Monitoring) HTTPS on this interface? [Y]> Y を入力します。
- Which port do you want to use for AsyncOS API (Monitoring) HTTPS?[6443]> デフォルトのポート 6443 か定義するポートを入力します。

(注) AsyncOS API は HTTP / 1.1 を使用して通信します。

HTTPS を選択して、セキュア通信用に独自の証明書を使用する場合は、 [AsyncOS API との安全な通信 \(3 ページ\)](#) を参照してください。

(注) HTTPS は常に実稼働環境で使用することをお勧めします。API のトラブルシューティングおよびテストには、HTTP のみを使用します。

ステップ 5 変更を確定します。

AsyncOS API との安全な通信

独自の証明書を使用してセキュア HTTP 経由で AsyncOS API と通信できます。



(注) HTTPS およびセキュア通信用の独自の証明書を使用して Web インターフェイスをすでに起動している場合は、この手順を実行しないでください。AsyncOS API は、HTTPS 経由で通信するため Web インターフェイスと同じ証明書を使用します。

-
- ステップ 1** CLI で `certconfig` コマンドを使用して証明書を設定します。手順については、ユーザガイドまたはオンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 2** CLI で `interfaceconfig` コマンドを使用して、IP インターフェイスで使用する HTTPS 証明書を独自の証明書に変更します。手順については、ユーザガイドまたはオンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 3** 変更を送信し、保存します。
-

AsyncOS API の認証と認可

このセクションでは、認証方式、API にアクセスできるユーザロール、ユーザにアクセス可能な API をクエリする方法について説明します。

- [認証 \(3 ページ\)](#)
- [認可 \(5 ページ\)](#)

認証

次の 2 つのいずれかの方法を使用すると、API へのクエリを認証できます。

- Base64 エンコード形式で、API へのすべての要求と一緒に、Web セキュリティアプライアンスのユーザ名とパスワードを送信します。または
- ヘッダーにトークンキーを含む API 要求で JWT トークンを使用します。

アプライアンスのユーザ非アクティブ タイムアウトの設定は、JWT の有効期間に適用されます。要求の認証ヘッダーに有効なログイン情報が含まれない場合、API は 401 エラーメッセージを送信します。base64 ライブラリを使用すると、クレデンシャルを base64 エンコード形式に変換できます。

JSON Web トークンを使用した API クエリの認証

JSON Web トークン (JWT) を生成すると、API クエリで使用することができます。



- (注) アプライアンスのユーザ非アクティブ タイムアウトの設定は、JWT の有効期間に適用されません。Web セキュリティアプライアンスは、その有効期間の JWT を含むすべての API クエリをチェックします。JWT の有効期間が5分以内の場合、タイムアウトになると、新しい更新JWT が応答ヘッダーと共に送信されます。API クエリでこの新しい更新 JWT を使用するか、新しい JWT を生成する必要があります。

概要	POST /wsa/api/v2.0/login 二要素認証には、次の構文を使用します。 POST /wsa/api/v2.0/login/two_factor
本文パラメータ	Base64 エンコード クレデンシヤルを使用します。 <pre>{ "data": { "userName": "YWRtaW4=", "passphrase": "aXJvbnBvcnQ=" } }</pre>
要求ヘッダー	Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー	Content-Type、Content-Length、Connection

次の例では、Base64 エンコード クレデンシヤルでログインし、JWT を生成するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```
POST /wsa/api/v2.0/login
HTTP/1.1
Content-Type: application/json
cache-control: no-cache
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: wsa.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
content-length: 95
Connection: keep-alive
{
  "data":
  {
    "userName": "YWRtaW4=",
    "passphrase": "aXJvbnBvcnQ="
  }
}
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
Date: Mon, 26 Nov 2018 07:22:47 GMT
Content-type: application/json
```



```
Content-Length: 618
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{
  "data": {
    "userName": "admin",
    "is2FactorRedirectRequired": "false",
    "role": "Administrator",
    "email": [],
    "jwtToken": "eyJhbGciOiJIUzI1NiIsInR5cCI6IkpXVCJ9.eyJ1c2VybmFtZSI6ImFkbWwuaWVuaXMpYmFjdG9yQ2hlY2tSZXF1aXJlZCI6ZmFsc2UsImNvb2tpZSI6IiRucEZOVTFkZFRFTNwTlZFMdDlDanRMYVRoeENqdFpiV1J6VFVSQk5VMURNWGRpTWxGMVdUSnNlbGt5T0hWWk1qbDBUMnBaZDA5RVFUMetcbk8xVkhPWbBrUnpGbl1teEtNV0p1VW5CaVYxVjJUbm5wTUV4cVFMETPMVJUVU1hkTlJsaZNUVlJKZFUxRE5IZE1WRWw1VFdwek1FMXFcblNUVlNhazVDVDBWRk1rOUVaM2xTU1VreVRYcGtSazFwTVVSTlZFMHhUZFZlZXUjA1"
  }
}
```

認可

AsyncOS APIはロールベースのシステムで、APIクエリの範囲はユーザのロールごとに定義されています。次のロールを使用するCisco Web セキュリティアプライアンスのユーザは、AsyncOS APIにアクセスできます。

- 管理者
- オペレーター
- 専門技術者
- 読み取り専用オペレーター
- ゲスト
- Web Administrator
- Web Policy Administrator
- URL フィルタリング管理者
- メール管理者
- ヘルプ デスク ユーザ



- (注)
- 外部認証ユーザはAPIにアクセスできます。
 - また、管理者から委任されたカスタムロールもAPIにアクセスできます。

AsyncOS API の要求と応答



(注) API の完全なリストについては、『*AsyncOS 12.5 API - Addendum to the Getting Started Guide for Cisco Web Security Appliances*』を参照してください。

AsyncOS API 要求

API に対する要求には次の特性があります。

- 要求は HTTP または HTTPS 経由で送信されます。
- 各要求には、次の形式で有効な URI が含まれている必要があります。

```
http://{appliance}:{port}/wsa/api/v2.0/{resource}/{resource_attributes}
```

```
https://{appliance}:{port}/wsa/api/v2.0/{resource}/{resource_attributes}
```

引数の説明

- {appliance}:{port}

FQDN またはアプライアンスの IP アドレスと、アプライアンスが待機する TCP ポート番号です。

- {resource}

レポート、トラッキング、隔離、設定、他のカウンタなど、アクセスしようとするリソースです。

- {resource_attributes}

期間など、リソースでサポートされている属性です。

- 各要求には、ユーザクレデンシャルまたは有効な認証ヘッダーを含める必要があります。
- 各要求には、承認を設定する必要があります。

```
application/json
```

- HTTPS (独自の証明書を使用) 経由で送信された要求には、CA 証明書を含める必要があります。たとえば、cURL の場合、API 要求で CA 証明書を次のように指定することができます。

```
curl --cacert <ca_cert.crt> -u"username:password"
```

```
https://<fqdn>:<port>/wsa/api/v2.0/{resource}/{resource_attributes}
```



(注) API 要求では、大文字と小文字が区別され、このマニュアルで示すように入力する必要があります。

AsyncOS API 応答

このセクションでは、応答の主要なコンポーネントとさまざまなHTTPエラーコードについて説明します。

- [応答の主要なコンポーネント \(7 ページ\)](#)
- [HTTP 応答コード \(8 ページ\)](#)

応答の主要なコンポーネント

コンポーネント	値	説明	
ステータスコードと理由	HTTP 応答コード (8 ページ) を参照してください。	HTTP 応答コードと理由。	
メッセージヘッダー	Content-Type	application/json	メッセージ本文の形式を示す。
	Content-Length	適用対象外	オクテットによる応答本文の長さ。
	Connection	close	接続用のオプション。

コンポーネント	値	説明
メッセージ本文	適用対象外	<p>メッセージ本文は Content-Type ヘッダーで定義された形式です。次に、メッセージ本文のコンポーネントを示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> URI。API への要求で指定した URI。 例 "/api/v2.0/config/" カウンタ グループやカウンタ名 例 reporting/mail_security_summary クエリ パラメータ 例 startDate=2017-01-30T00:00:00.000Z&endDate=2018-01-30T14:00:00.000Z エラー（エラーイベントのみ）。このコンポーネントは、メッセージ、コード、および説明の 3 つのコンポーネントを示します。 例 "error": {"message": "Unexpected attribute - starts_with.", "code": "404", "explanation": "404 = Nothing matches the given URI."} <p>メッセージ本文に空のカッコ（{}）が含まれている場合、API がクエリに一致するレコードを見つけられなかったことを表します。</p> <p>(注) totalCount は、データセットで返されるデータオブジェクトの数です（UI にテーブル形式で表示される結果の場合）。他のクエリでは、デフォルトで -1 が返されます。</p>

HTTP 応答コード

次に、AsyncOS API によって返される HTTP 応答コードのリストを示します。

- 200
- 202

- 300
- 301
- 307
- 400
- 401
- 403
- 404
- 406
- 413
- 414
- 500
- 501
- 503
- 505

これらの HTTP 応答コードの詳細については、次の RFC を参照してください。

- RFC1945
- RFC7231

AsyncOS API 機能

AsyncOS API を使用すると、次のカテゴリの情報を取得できます。

- [Web 用 API \(11 ページ\)](#)
- [汎用 API \(43 ページ\)](#)



第 2 章

Web 用 API

- [レポート API \(11 ページ\)](#)
- [スケジュールおよびアーカイブ API \(19 ページ\)](#)
- [トラッキング API \(35 ページ\)](#)

レポート API

レポートクエリを使用すると、特定のグループ内のすべてのレポートまたは特定のレポートにおいてレポートグループからデータを取得できます。

概要	<code>GET /api/v2.0/reporting/report?resource_attribute</code> <code>GET /api/v2.0/reporting/report/counter?resource_attribute</code>
----	--

サポート対象のリソース属性	時間	<p>このパラメータは必須です。すべての API クエリは、このパラメータと共に使用する必要があります。</p> <p><code>startdate=YYYY-MM-DDThh:mm:00.000Z&endDate=YYYY-MM-DDThh:mm:00.000Z</code></p> <p>指定した期間の集約レポート。</p>
	クエリのタイプ	<ul style="list-style-type: none"> • <code>query_type=graph</code> グラフとして表現できるデータを受信します。 • <code>query_type=export</code> エクスポート形式のデータを受信します。
	ソート	<p>次の両方のパラメータを使用する必要があります。いずれかを使用した場合は、応答でデータを受信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>orderBy=<value></code> 応答内のデータを並べ替える属性を指定します。次の例を参考にしてください。 <code>orderBy=total_clean_recipients</code> • <code>orderDir=<value></code> ソート方向を指定します。 有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <code>asc</code> 昇順で結果を並べ替えます。 • <code>desc</code> 降順で結果を並べ替えます。
	遅延読み込み	<p>次の両方のパラメータを使用する必要があります。いずれかを使用した場合は、応答でデータを受信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>offset=<value></code> オフセット値から始まるレコードのサブセットを取得するオフセット値を指定します。オフセットは制限と共に使用し、オフセットから取得するレコードの数を決定します。 • <code>limit=<value></code> 取得するレコードの数を指定します。
	データの取得オプション	<ul style="list-style-type: none"> • <code>top=<value></code> 最大値を返すレコードの数を指定します。

	フィルタリング	<p>フィルタ パラメータは応答に含まれるデータを制限します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>filterValue=<value></code> 検索対象の値。 • <code>filterBy=<value></code> フィルタプロパティと値に従って取得されるデータをフィルタリングします。 • <code>filterOperator=<value></code> 有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <code>begins_with</code> 指定した値に基づいて応答データをフィルタリングします。これは完全一致の値ではありません。 • <code>is</code> 指定した完全一致の値に基づいて応答データをフィルタリングします。
	デバイス	<ul style="list-style-type: none"> • <code>device_type=wsa</code> デバイスタイプを指定します。このパラメータは必須です。すべての API クエリは、このパラメータと共に使用する必要があります。 • <code>device_name=<value></code> デバイス名を指定します。
要求ヘッダー		Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー		Content-Type、Content-Length、Connection

API データと Web インターフェイスデータの比較

新しい Web インターフェイスは、AsyncOS API を使用して、GMT タイムゾーンで指定された期間属性を持つデータを取得します。API クエリのデータを新しい Web インターフェイスデータと比較する場合は、API クエリに新しい Web インターフェイス API クエリと同じ時間範囲 (ISO8601 時間形式) が設定されていることを確認します。

例

次に、レポート クエリ タイプの例を示します。

- [カウンタの1つの値を取得する \(14 ページ\)](#)
- [カウンタの複数の値を取得する \(15 ページ\)](#)
- [カウンタ グループ内の各カウンタの1つの値を取得する \(16 ページ\)](#)
- [複数のカウンタの複数の値を取得する \(16 ページ\)](#)
- [各カウンタの複数の値を使用して複数のカウンタの複数の値を取得する \(17 ページ\)](#)

カウンタの1つの値を取得する

次の例では、カウンタの1つの値を取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/reporting/web_malware_category_malware_name_user_detail/
blocked_malware?startDate=2017-11-14T02:00+00:00&endDate=2018-02-18T01:00+00:00&
filterValue=23&filterBy=na&filterOperator=is&device_type=wsa
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: wsa.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
Date: Mon, 26 Nov 2018 16:29:33 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 193
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken
```

```
{
  "meta": {
    "totalCount": 4
  },
  "data": {
    "type": "blocked_malware",
    "resultSet": {
      "blocked_malware": [
        {
          "10.8.93.12": 137511
        },
        {
          "10.8.93.20": 112554
        },
        {
          "10.8.93.11": 92839
        },
        {
          "10.225.98.234": 6
        }
      ]
    }
  }
}
```

```

    ]
  }
}

```

カウンタの複数の値を取得する

次の例では、順序の方向とデバイス タイプ パラメータを指定して、カウンタの複数の値を取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```

GET /wsa/api/v2.0/reporting/web_services_summary?orderBy=transaction_total&
orderDir=desc&startDate=2018-08-16T18:00:00.000Z&endDate=2018-11-15T10:00:00.000Z&device_type=wsa
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: 10.8.159.21:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
Date: Sun, 18 Nov 2018 15:38:52 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 403
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

```

```

{
  "meta": {
    "totalCount": -1
  },
  "data": {
    "type": "web_services_summary",
    "resultSet": [
      {"detected_by_traffic_monitor": 0},
      {"detected_malware_total": 42},
      {"high_risk_transaction_total": 7109},
      {"blocked_by_admin_policy": 0},
      {"detected_by_amp": 0},
      {"allowed_transaction_total": 26369},
      {"transaction_total": 33478},
      {"blocked_or_warned_by_webcat": 29},
      {"blocked_by_wbrs": 7038},
      {"blocked_by_avc": 0}
    ]
  }
}

```

カウンタ グループ内の各カウンタの1つの値を取得する

カウンタ グループには複数のカウンタが含まれます。次の例では、フィルタ、デバイス タイプ、および上位パラメータを指定して、カウンタ グループ内の各カウンタの1つの値を取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/reporting/web_application_type_detail/bw_not_limited?startDate=
2017-09-10T19:00:00.000Z&endDate=2018-09-24T23:00:00.000Z&device_type=wsa&filterValue=
F&filterOperator=begins_with&filterBy=na&top=2
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: 10.8.159.21:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
Date: Sun, 18 Nov 2018 15:48:21 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 138
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken
{
  "meta": {
    "totalCount": 2
  },
  "data": {
    "type": "bw_not_limited",
    "resultSet": {
      "bw_not_limited": [
        {"File Sharing": 84},
        {"Facebook": 42}
      ]
    }
  }
}
```

複数のカウンタの複数の値を取得する

次の例では、オフセットと制限、およびデバイス タイプ パラメータを指定して、複数のカウンタの複数の値を取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/reporting/web_services_summary?offset=0&limit=20&
startDate=2020-04-10T07:00:00.000Z&endDate=2020-04-11T08:00:00.000Z&device_type=wsa&
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: 692fd2a6-3da7-4bc1-b581-f4b478b5a304
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
```

```
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Sat, 11 Apr 2020 07:42:04 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 387
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"meta": {"totalCount": -1}, "data": {"type": "web_services_summary", "resultSet":
[{"detected_by_traffic_monitor": 0}, {"detected_malware_total": 0},
{"high_risk_transaction_total": 0},
{"blocked_by_admin_policy": 0}, {"detected_by_amp": 0}, {"allowed_transaction_total":
0},
{"transaction_total": 0}, {"blocked_or_warned_by_webcat": 0}, {"blocked_by_wbrs": 0},
{"blocked_by_avc": 0}]}}
```

各カウンタの複数の値を使用して複数のカウンタの複数の値を取得する

次の例では、オフセットと制限、およびクエリ タイプ パラメータを指定して、複数のカウンタの複数の値を取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/reporting/web_application_name_application_type_detail?startDate
=2017-08-16T18:00:00.000Z&endDate=2018-11-15T15:00:00.000Z&device_type=wsa&query_type=export
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: 10.8.159.21:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
Date: Sun, 18 Nov 2018 15:55:50 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 1258
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{
  "meta": {
    "totalCount": -1
  },
  "data": {
    "type": "web_application_name_application_type_detail",
```

各カウンタの複数の値を使用して複数のカウンタの複数の値を取得する

```

"resultSet": {
  "time_intervals": [
    {
      "end_timestamp": 1538332199,
      "counter_values": [
        {
          "counter_values": [
            42,
            25932,
            0,
            42,
            0,
            42,
            0
          ],
          "application_type": "File Sharing",
          "counter_key": "4shared"
        },
        {
          "counter_values": [
            2,
            109614,
            0,
            2,
            0,
            2,
            0
          ],
          "application_type": "Media",
          "counter_key": "Dailymotion"
        },
        {
          "counter_values": [
            42,
            20748,
            0,
            42,
            0,
            42,
            0
          ],
          "application_type": "Facebook",
          "counter_key": "Facebook General"
        },
        {
          "counter_values": [
            42,
            20580,
            0,
            42,
            0,
            42,
            0
          ],
          "application_type": "File Sharing",
          "counter_key": "MediaFire"
        },
        {
          "counter_values": [
            229,
            158838,
            0,
            229,
            0,
            0,
            0
          ],
          "application_type": "File Sharing",
          "counter_key": "MediaFire"
        }
      ]
    }
  ]
}

```


スケジュール API

概要	GET /wsa/api/v2.0/config/periodic_reports?resource_attribute POST wsa/api/v2.0/config/periodic_reports?resource_attribute PUT /wsa/api/v2.0/config/periodic_reports/periodic_report_id?resource_attribute DELETE /wsa/api/v2.0/config/periodic_reports?resource_attribute
----	---

サポート対象のリ ソース属性	ソート
-------------------	-----

次の両方のパラメータを使用する必要があります。いずれかを使用した場合は、応答でデータを受信できません。

- orderBy=<value>

有効なオプションは次のとおりです。

- periodic_report_display_name

レポートの表示名に基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_title

レポートのタイプに基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_type

レポートのタイプに基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_time_range

レポートの時間範囲に基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_delivery

レポートの配信オプションに基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_format

レポートの形式に基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_schedule_type

レポートに選択したスケジュールのタイプに基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_tier

必要な Web ゲートウェイに基づいて結果を並べ替えます。

- periodic_report_next_run_date

レポートのスケジュールオプションに基づいて結果を並べ替えます。

- orderDir=<value>

ソート方向を指定します。

有効なオプションは次のとおりです。

- asc

		<p>昇順で結果を並べ替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • desc <p>降順で結果を並べ替えます。</p>
	遅延読み込み	<p>次の両方のパラメータを使用する必要があります。いずれかを使用した場合は、応答でデータを受信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • offset=<value> <p>オフセット値から始まるレコードのサブセットを取得するオフセット値を指定します。オフセットは制限と共に使用し、オフセットから取得するレコードの数を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • limit=<value> <p>取得するレコードの数を指定します。</p>
	デバイス	<ul style="list-style-type: none"> • device_type=wsa <p>デバイスタイプを指定します。このパラメータは必須です。すべての API クエリは、このパラメータと共に使用する必要があります。</p>
要求ヘッダー		Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー		Content-Type、Content-Length、Connection

例

次に、スケジュールレポートクエリのタイプの例をいくつか示します。

- [スケジュールレポートの取得 \(23 ページ\)](#)
- [スケジュール レポート エントリの詳細の取得 \(25 ページ\)](#)
- [スケジュール レポート エントリの追加 \(26 ページ\)](#)
- [スケジュール レポート エントリの編集 \(27 ページ\)](#)
- [スケジュール設定されたレポートの削除 \(27 ページ\)](#)

スケジュールレポートの取得

次に、使用可能なすべてのスケジュールレポートエントリのリストを取得する例を示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/config/periodic_reports?device_type=wsa HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: 2a8a85d4-50cc-49fd-9ac5-20e07775e1db
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
```

```
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 10 Apr 2020 10:41:02 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 3691
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data": {"periodic_reports": [{"20200409064843_Web Sites Report_calendar_week":
{"periodic_report_type": "coeus", "periodic_report_schedule": {"periodic_report_second":
0,
"periodic_report_day": "", "periodic_report_month": "", "periodic_report_minute": 0,
"periodic_report_weekday": "", "periodic_report_year": "", "periodic_report_hour": 1,
"periodic_report_schedule_type": "Daily"}, "periodic_report_options":
{"periodic_report_rows": 20,
"periodic_report_charts": {"wsa_web_sites_top_blocked_domains":
"DOMAINS.BLOCKED_TRANSACTION_TOTAL",
"wsa_web_sites_top_domains": "DOMAINS.TRANSACTION_TOTAL"}, "periodic_report_format":
"PDF",
"periodic_report_lang": "en-us", "periodic_report_sort_columns":
{"wsa_web_sites_domains_matched":
"DOMAINS.TRANSACTION_TOTAL"}, "periodic_report_time_range": "Previous calendar month"},
"periodic_report_user_name": "admin", "periodic_report_product_type": "WSA",
"periodic_report_type_name": "Web Sites", "periodic_report_delivery": "Archived Only",
"periodic_report_recipients": [], "periodic_report_tier": "All Web Appliances",
"periodic_report_next_run_date": "11 Apr 2020 01:00 (GMT)", "periodic_report_title":
"Web Sites Report_2 Edit"}},
{"20200402042756_Users_calendar_week": {"periodic_report_type": "coeus",
"periodic_report_schedule":
{"periodic_report_second": 0, "periodic_report_day": "", "periodic_report_month": "",
"periodic_report_minute": 0,
"periodic_report_weekday": "", "periodic_report_year": "", "periodic_report_hour": 1,
"periodic_report_schedule_type": "Daily"}, "periodic_report_options":
{"periodic_report_rows": 10,
"periodic_report_charts": {"wsa_users_top_users_bandwidth_used":
"WEB_USER_DETAIL.BANDWIDTH_USED",
"wsa_users_top_users_blocked_transactions": "WEB_USER_DETAIL.BLOCKED_TRANSACTION_TOTAL"},
"periodic_report_format": "PDF", "periodic_report_lang": "en-us",
"periodic_report_sort_columns":
{"wsa_users_users_table": "WEB_USER_DETAIL.BLOCKED_TRANSACTION_TOTAL"},
"periodic_report_time_range":
"Previous 7 calendar days"}, "periodic_report_user_name": "admin",
"periodic_report_product_type": "WSA",
"periodic_report_type_name": "Users", "periodic_report_delivery": "Emailed Only",
"periodic_report_recipients": ["abc@cic.com"], "periodic_report_tier": "All Web
Appliances",
"periodic_report_next_run_date": "11 Apr 2020 01:00 (GMT)", "periodic_report_title":
"Users"}},
{"20200403094854_Application Visibility_calendar_month": {"periodic_report_type": "coeus",
"periodic_report_schedule": {"periodic_report_second": 0, "periodic_report_day": "",
"periodic_report_month": "", "periodic_report_minute": 0, "periodic_report_weekday": ""},
```

```

"periodic_report_year": "", "periodic_report_hour": 1, "periodic_report_schedule_type":
"Daily"},
"periodic_report_options": {"periodic_report_rows": 10, "periodic_report_charts":
{"wsa_applications_blocked":
"WEB_APPLICATION_NAME_APPLICATION_TYPE_DETAIL.BLOCKED_BY_AVC",
"wsa_applications_top_types":
"WEB_APPLICATION_TYPE_DETAIL.TRANSACTION_TOTAL"}, "periodic_report_format": "PDF",
"periodic_report_lang": "en-us", "periodic_report_sort_columns": {"wsa_applications_total":
"WEB_APPLICATION_NAME_APPLICATION_TYPE_DETAIL.TRANSACTION_TOTAL",
"wsa_applications_types_total":
"WEB_APPLICATION_TYPE_DETAIL.BANDWIDTH_USED"}, "periodic_report_time_range": "Previous
calendar month"},
"periodic_report_user_name": "admin", "periodic_report_product_type": "WSA",
"periodic_report_type_name": "Application Visibility", "periodic_report_delivery":
"Archived Only",
"periodic_report_recipients": [], "periodic_report_tier": "All Web Appliances",
"periodic_report_next_run_date": "11 Apr 2020 01:00 (GMT)", "periodic_report_title":
"Application Visibility"}},
"meta": {"totalCount": 3}}

```

スケジュール レポート エントリの詳細の取得

次の例では、レポート ID を渡すことによって、特定のスケジュールされたレポートの詳細を取得する方法を示します。

サンプル リクエスト

```

GET /wsa/api/v2.0/config/periodic_reports/20200402042756_Users_calendar_week?
device_type=wsa& HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: b7038e94-4182-4b35-9aae-73a1a1e35249
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive

```

サンプル 応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 10 Apr 2020 10:43:07 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 1130
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data": {"periodic_reports": {"20200402042756_Users_calendar_week":
{"periodic_report_type":
"coeus", "periodic_report_schedule": {"periodic_report_second": 0, "periodic_report_day":
"",
"periodic_report_month": "", "periodic_report_minute": 0, "periodic_report_weekday": "",
"periodic_report_year": "", "periodic_report_hour": 1, "periodic_report_schedule_type":
"Daily"},
"periodic_report_options": {"periodic_report_rows": 10, "periodic_report_charts":
[{"column":
"Bandwidth Used", "Chart": "Top Users (Right)"}, {"column": "Transactions Blocked",

```

```

"Chart":
"Top Users (Left)"]], "periodic_report_format": "PDF", "periodic_report_lang": "en-us",

"periodic_report_sort_columns": [{"column": "Transactions Blocked", "table": "Users"}],

"periodic_report_time_range": "Previous 7 calendar days", "periodic_report_user_name":
"admin",
"periodic_report_product_type": "WSA", "periodic_report_type_name": "Users",
"periodic_report_delivery": "Emailed Only", "periodic_report_recipients": ["abc@cic.com"],

"periodic_report_tier": "All Web Appliances", "periodic_report_next_run_date": 1586566800,

"periodic_report_title": "Users"}}}]}}

```

スケジュール レポート エントリの追加

次の例では、レポートタイプ、レポートタイトル、デバイスタイプ、およびその他のオプションを指定してスケジュールレポートを追加する方法を示します。

サンプル リクエスト

```

POST /wsa/api/v2.0/config/periodic_reports?device_type=wsa& HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: 32ald150-a8a0-47f2-b9bf-2c7c5b2e8e8a
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
Content-Type: text/plain
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
content-length: 833
Connection: keep-alive

{"data":{"periodic_reports":[{"periodic_report_delivery":"Emailed and Archived",
"periodic_report_options":{"periodic_report_format":"pdf","periodic_report_lang":"en-us",
"periodic_report_rows":10,"periodic_report_sort_columns":[{"table":"Domains
Matched","column":
"Total Transactions"}],"periodic_report_charts":[{"Chart":"Top Domains (Left)","Data to
display":
"Total Transactions"},{"Chart":"Top Domains (Right)","Data to display":"Transactions
Blocked"}],
"periodic_report_time_range":"Previous 7 calendar days"},"periodic_report_title":"Web
Sites Report",
"periodic_report_type":"coeus","periodic_report_type_name":"Web Sites",
"periodic_report_user_name":"admin","periodic_report_schedule":{"periodic_report_hour":1,
"periodic_report_minute":0,"periodic_report_schedule_type":"daily"},
"periodic_report_recipients":["abc@test.com"]}]}}

```

サンプル 応答

```

HTTP/1.1 201 Created
Date: Thu, 09 Apr 2020 06:50:18 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 49
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data": "Scheduled Report created Successfully"}

```

スケジュール レポート エントリの編集

次に、スケジュールレポート ID を使用してスケジュールされたレポートを変更する例を示します。

サンプル リクエスト

```
PUT
/wsa/api/v2.0/config/periodic_reports/20200409064843_Web%20Sites%20Report_calendar_week?
device_type=wsa& HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: 2d168727-6e8a-470a-909f-0af9a5dc1e85
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
Content-Type: text/plain
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
content-length: 786
Connection: keep-alive

{"data":{"periodic_reports":[{"periodic_report_delivery":"Archived Only",
"periodic_report_options":{"periodic_report_format":"pdf","periodic_report_lang":"en-us",
"periodic_report_rows":20,"periodic_report_sort_columns":[{"table":"Domains
Matched","column":
"Total Transactions"}]},"periodic_report_charts":[{"Chart":"Top Domains (Left)","Data to
display":
"Total Transactions"}, {"Chart":"Top Domains (Right)","Data to display":"Transactions
Blocked"}]},
"periodic_report_time_range":"Previous calendar month"},"periodic_report_title":
"Web Sites Report_1 Edit","periodic_report_type":"coeus","periodic_report_type_name":
"Web Sites","periodic_report_user_name":"admin","periodic_report_schedule":
{"periodic_report_hour":1,"periodic_report_minute":0,"periodic_report_schedule_type":"daily"}}}]}
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Thu, 09 Apr 2020 06:54:19 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 49
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data": "Scheduled Report Updated Successfully"}
```

スケジュール設定されたレポートの削除

次に、デバイスタイプとスケジュールレポート ID を使用してスケジュールされたレポートを削除する例を示します。

サンプル リクエスト

```
DELETE /wsa/api/v2.0/config/periodic_reports?id=20200409065018_Web%20Sites
%20Report_calendar_week&device_type=wsa HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: 7e09e87c-40c2-410a-a99e-98f73c6e0bf8
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
```

```
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
content-length: 0
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Thu, 09 Apr 2020 07:07:05 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 52
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken
{"data": {"message": "1 item deleted successfully"}}
```

アーカイブ API

概要	<pre>GET /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?resource_attribute GET wsa/api/v2.0/config/archived_reports/view/archived_report_id?resource_attribute POST /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?resource_attribute DELETE /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?id=archived_report_id (単 一レポートを削除する場合) DELETE /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?id=all (すべてのアーカイ ブレポートを削除する場合)</pre>
----	---

サポート対象のリソース属性	ソート	<p>次の両方のパラメータを使用する必要があります。いずれかを使用した場合は、応答でデータを受信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>orderBy=<value></code> 有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <code>periodic_report_generated</code> レポートが生成された日時に基づいて結果を並べ替えます。 • <code>periodic_report_display_name</code> レポートの表示名に基づいて結果を並べ替えます。 • <code>periodic_report_format</code> レポートの形式に基づいて結果を並べ替えます。 • <code>periodic_report_title</code> レポートのタイプに基づいて結果を並べ替えます。 • <code>periodic_report_time_range</code> レポートの時間範囲に基づいて結果を並べ替えます。 • <code>periodic_report_type</code> レポートのタイプに基づいて結果を並べ替えます。 • <code>periodic_report_tier</code> 必要な電子メールゲートウェイに基づいて結果を並べ替えます。 • <code>orderDir=<value></code> ソート方向を指定します。 有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • <code>asc</code> 昇順で結果を並べ替えます。 • <code>desc</code> 降順で結果を並べ替えます。
---------------	-----	---

	遅延読み込み	<p>次の両方のパラメータを使用する必要があります。いずれかを使用した場合は、応答でデータを受信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>offset=<value></code> オフセット値から始まるレコードのサブセットを取得するオフセット値を指定します。オフセットは制限と共に使用し、オフセットから取得するレコードの数を決定します。 • <code>limit=<value></code> 取得するレコードの数を指定します。
	フィルタリング	<p>フィルタ パラメータは応答に含まれるデータを制限します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <code>filterByTitle=<value></code> レポートのタイトルと値でデータをフィルタリングします。 • <code>filterByReportTypeName=<value></code> レポートのタイプと値でデータをフィルタリングします。 • <code>filterByTimeRange=<value></code> レポートの時間範囲と値でデータをフィルタリングします。
	デバイス	<ul style="list-style-type: none"> • <code>device_type=wsa</code> デバイスタイプを指定します。このパラメータは必須です。すべてのAPIクエリは、このパラメータと共に使用する必要があります。
要求ヘッダー		Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー		Content-Type、Content-Length、Connection

例

アーカイブレポートクエリのタイプの例を次に示します。

- [アーカイブレポートの検索 \(31 ページ\)](#)
- [アーカイブレポートの取得 \(31 ページ\)](#)
- [アーカイブレポートエントリの詳細の取得 \(33 ページ\)](#)
- [アーカイブレポートエントリの追加 \(33 ページ\)](#)

- [アーカイブレポートエントリの削除 \(34 ページ\)](#)

アーカイブレポートの検索

次に、レポートタイトルに基づいて、レポートが生成された日時に昇順にソートされた上位20のアーカイブレポートのリストを検索する例を示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?orderBy=periodic_report_title&
device_type=wsa&filterByTitle=Application&orderDir=asc&offset=0&limit=20 HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: elf6fac5-f047-4ab5-9be2-467132a3b29d
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Thu, 09 Apr 2020 07:27:25 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 1262
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data": {"meta": {"totalCount": 3}, "archived_reports": [{"20200404010011_Application
Visibility_calendar_month.pdf": {"periodic_report_format": "PDF",
"periodic_report_type_name": "Application Visibility", "periodic_report_generated":
"04 Apr 2020 01:00 (GMT)", "periodic_report_time_range": "Previous calendar month",
"periodic_report_tier": "All Web Appliances", "periodic_report_title": "Application
Visibility",
"periodic_report_product_type": "wsa"}}, {"20200409010011_Application
Visibility_calendar_month.pdf":
{"periodic_report_format": "PDF", "periodic_report_type_name": "Application Visibility",
"periodic_report_generated": "09 Apr 2020 01:00 (GMT)", "periodic_report_time_range":
"Previous calendar month", "periodic_report_tier": "All Web Appliances",
"periodic_report_title":
"Application Visibility", "periodic_report_product_type": "wsa"}},
{"20200408010011_Application
Visibility_calendar_month.pdf": {"periodic_report_format": "PDF",
"periodic_report_type_name":
"Application Visibility", "periodic_report_generated": "08 Apr 2020 01:00 (GMT)",
"periodic_report_time_range": "Previous calendar month", "periodic_report_tier":
"All Web Appliances", "periodic_report_title": "Application Visibility",
"periodic_report_product_type": "wsa"}]}}
```

アーカイブレポートの取得

次に、レポートの時間範囲で降順にソートされた上位25のアーカイブレポートのリストを取得する例を示します。

サンプル リクエスト

```

GET /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?device_type=wsa&limit=25&
offset=0&orderBy=periodic_report_generated&orderDir=desc HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: 9cf1ebad-774d-4e86-af29-fd6d25c446ce
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 10 Apr 2020 10:48:31 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 2792
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data": {"meta": {"totalCount": 7}, "archived_reports": [{"20200410010016_Application
Visibility
calendar_month.pdf": {"periodic_report_format": "PDF", "periodic_report_type_name":
"Application Visibility", "periodic_report_generated": "10 Apr 2020 01:00 (GMT)",
"periodic_report_time_range": "Previous calendar month", "periodic_report_tier": "All
Web Appliances",
"periodic_report_title": "Application Visibility", "periodic_report_product_type":
"wsa"}}, {"20200410010009_Web Sites Report_2 Edit_calendar_month.pdf": {"periodic_report_format":
"PDF",
"periodic_report_type_name": "Web Sites", "periodic_report_generated": "10 Apr 2020 01:00
(GMT)",
"periodic_report_time_range": "Previous calendar month", "periodic_report_tier": "All
Web Appliances",
"periodic_report_title": "Web Sites Report_2 Edit", "periodic_report_product_type":
"wsa"}}, {"20200409071005_URL Categories_calendar_week.pdf": {"periodic_report_format": "PDF",
"periodic_report_type_name": "URL Categories", "periodic_report_generated": "09 Apr 2020
07:10 (GMT)",
"periodic_report_time_range": "Previous 7 calendar days", "periodic_report_tier": "All
Web Appliances",
"periodic_report_title": "URL Categories", "periodic_report_product_type": "wsa"}}, {"20200409070946_Web Sites_calendar_week.pdf": {"periodic_report_format": "PDF",
"periodic_report_type_name": "Web Sites", "periodic_report_generated": "09 Apr 2020 07:09
(GMT)",
"periodic_report_time_range": "Previous 7 calendar days", "periodic_report_tier":
"All Web Appliances", "periodic_report_title": "Web Sites", "periodic_report_product_type":
"wsa"}}, {"20200409010011_Application Visibility_calendar_month.pdf": {"periodic_report_format":
"PDF", "periodic_report_type_name": "Application Visibility", "periodic_report_generated":
"09 Apr 2020 01:00 (GMT)", "periodic_report_time_range": "Previous calendar month",
"periodic_report_tier": "All Web Appliances", "periodic_report_title": "Application
Visibility",
"periodic_report_product_type": "wsa"}}, {"20200408010011_Application
Visibility_calendar_month.pdf": {"periodic_report_format": "PDF", "periodic_report_type_name": "Application Visibility",
"periodic_report_generated": "08 Apr 2020 01:00 (GMT)", "periodic_report_time_range":
"Previous calendar month", "periodic_report_tier": "All Web Appliances",

```

```

"periodic_report_title":
"Application Visibility", "periodic_report_product_type": "wsa"}},
{"20200404010011_Application
Visibility_calendar_month.pdf": {"periodic_report_format": "PDF",
"periodic_report_type_name":
"Application Visibility", "periodic_report_generated": "04 Apr 2020 01:00 (GMT)",
"periodic_report_time_range": "Previous calendar month", "periodic_report_tier": "All
Web Appliances",
"periodic_report_title": "Application Visibility",
"periodic_report_product_type": "wsa"}}}}}}

```

アーカイブレポートエントリの詳細の取得

次に、デバイスタイプとアーカイブレポート ID を使用してアーカイブレポートを取得する例を示します。

サンプル リクエスト

```

GET /wsa/api/v2.0/config/archived_reports/view/20200409070946_Web%20
Sites_calendar_week.pdf?device_type=wsa& HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: 986e7426-c8a2-4bbb-9aa5-5b87e9a5ff56
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 10 Apr 2020 10:45:27 GMT
Content-type: application/pdf
Content-Disposition: filename="20200409070946_Web Sites_calendar_week.pdf"
Content-Length: 111175
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

%PDF-1.4
.....
.....
%%EOF

```

アーカイブレポートエントリの追加

次の例では、レポートタイトル、レポートタイプ、デバイスタイプ、およびその他のオプションを指定してアーカイブレポートを追加する方法を示します。

サンプル リクエスト

```

POST /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?device_type=wsa& HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: a144b273-13ff-4f48-bf4c-4232fa5db6f2
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
Content-Type: text/plain
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080

```

アーカイブレポートエントリの削除

```

accept-encoding: gzip, deflate
content-length: 644
Connection: keep-alive

{"data":{"archived_reports":[{"periodic_report_delivery":"Archived Only",
"periodic_report_options":{"periodic_report_format":"pdf","periodic_report_lang":"en-us",
"periodic_report_rows":20,"periodic_report_sort_columns":[{"table":"Users","column":
"Transactions Blocked"}],"periodic_report_charts":[{"Chart":"Top Users (Left)","Data to
display":
"Transactions Blocked"},"Chart":"Top Users (Right)","Data to display":"Bandwidth Used"}],
"periodic_report_time_range":"Previous calendar month"},"periodic_report_title":"Users
Archive Report 2",
"periodic_report_type":"coeus","periodic_report_type_name":"Users",
"periodic_report_user_name":"admin"}]}}
```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 201 Created
Date: Fri, 10 Apr 2020 10:51:41 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 46
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data":{"message":"Archived successfully"}}
```

アーカイブレポートエントリの削除

次に、デバイスタイプとアーカイブレポート ID を使用してアーカイブレポートを削除する例を示します。

サンプル リクエスト

```

DELETE /wsa/api/v2.0/config/archived_reports?id=20200409071005_URL%20
Categories_calendar_week.pdf&device_type=wsa& HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Postman-Token: f183a45c-7bcb-40fd-bff1-2940824684b3
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
content-length: 0
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Fri, 10 Apr 2020 11:07:27 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 52
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data":{"message":"1 item deleted successfully"}}
```

トラッキング API

Web トラッキング API を使用すると、個々のトランザクションまたはトランザクションのパターンを検索し、その詳細を取得できます。Web トラッキング API は次のとおりです。

- [プロキシ サービス \(35 ページ\)](#)
- [レイヤ 4 トラフィック モニタ \(38 ページ\)](#)
- [SOCKS プロキシ \(39 ページ\)](#)

プロキシ サービス

複数の属性を使用すると、特定のユーザまたはすべてのユーザの Web の使用状況に関する情報を取得できます。

概要	GET /api/v2.0/web-tracking/web_transaction?resource_attribute	
サポート対象のリソース属性	詳細については、『 <i>AsyncOS 12.5 API - Addendum to the Getting Started Guide for Cisco Web Security Appliances</i> 』を参照してください。	
要求ヘッダー		Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー		Content-Type、Content-Length、Connection

例

次の例では、期間、フィルタリング、オフセットと制限、順序、およびトランザクションステータスのパラメータを指定して、プロキシサービスによって処理されるトランザクションを取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/web-tracking/web_transaction?startDate=2016-09-30T18:00:00.000Z
&endDate=2018-10-31T19:00:00.000Z&filterBy=proxy_services&filterOperator=is&limit=20&offset=0
&device_type=wsa&orderBy=timestamp&orderDir=desc&transactionStatus=all&
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: 10.225.99.234:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
```

```

Date: Mon, 19 Nov 2018 14:43:38 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 26617
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{
  "meta": {
    "totalCount": 20
  },
  "data": [
    {
      "attributes": {
        "webCategory": "Computers and Internet",
        "contentType": "-",
        "pageResources":
"http://update.googleapis.com/service/update2?cup2key=8:128910954&cup2hreq=
3a51fa0a72aa94fcb12403f2eb11c4884b27862dd31a779133c03a0e61d334d",
        "applicationBehavior": "-",
        "malwareCategory": "-",
        "fileName": "-",
        "SHA": "-",
        "bandwidth": 0,
        "policyType": "Access",
        "user": "192.168.0.158",
        "srcIP": "192.168.0.158",
        "relatedTransCount": 1,
        "malwareName": "-",
        "applicationName": "-",
        "policyName": "DefaultGroup",
        "threatType": "Computers and Internet",
        "ampFileVerdict": "-",
        "destinationIP": "-",
        "userType": "[-]",
        "threatReason": "Information about computers and software, such as
hardware, software, software
support, information for software engineers, programming and networking,
website design, the web
and Internet in general, computer science, computer graphics and clipart.
Freeware and Shareware
is a separate category.",
        "serialNo": "4229C3B46A609471867D-0720DA1A8A64",
        "wbrsScore": "No Score",
        "decisionSrc": "WEBCAT",
        "url":
"http://update.googleapis.com/service/update2?cup2key=8:128910954&cup2hreq=3a51fa0a72aa94f
cb12403f2eb11c4884b27862dd31a779133c03a0e61d334d",
        "applicationType": "-",
        "timestamp": 1540275265,
        "transactionStatus": "BLOCK",
        "ampVerdict": "-"
      }
    },
    {
      "attributes": {
        "webCategory": "Business and Industry",
        "contentType": "-",
        "pageResources":
"http://www.purple.com/,http://www.purple.com/,http://www.purple.com/",

```



```

        "applicationBehavior": "-",
        "malwareCategory": "-",
        "fileName": "-",
        "SHA": "-",
        "bandwidth": 0,
        "policyType": "Access",
        "user": "10.10.5.105",
        "srcIP": "10.10.5.105",
        "relatedTransCount": 3,
        "malwareName": "-",
        "applicationName": "-",
        "policyName": "DefaultGroup",
        "threatType": "Business and Industry",
        "ampFileVerdict": "-",
        "destinationIP": "-",
        "userType": "[-]",
        "threatReason": "Marketing, commerce, corporations, business practices,
workforce, human resources
        , transportation, payroll, security and venture capital, office supplies,
industrial equipment
        (process equipment), machines and mechanical systems, heating equipment,
cooling equipment,
        materials handling equipment, packaging equipment, manufacturing: solids
handling, metal fabrication
        , construction and building, passenger transportation, commerce,
industrial design, construction
        , building materials, shipping and freight (freight services, trucking,
freight forwarders,
        truckload carriers, freight and transportation brokers, expedited
services, load and freight matching
        , track and trace, rail shipping, ocean shipping, road feeder services,
moving and storage).",
        "serialNo": "4229C3B46A609471867D-0720DA1A8A64",
        "wbrsScore": "No Score",
        "decisionSrc": "WEBCAT",
        "url": "ftp://www.purple.com/",
        "applicationType": "-",
        "timestamp": 1540274946,
        "transactionStatus": "BLOCK",
        "ampVerdict": "-"
    }
},
...
...
{
    "attributes": {
        "webCategory": "Business and Industry",
        "contentType": "-",
        "pageResources":
"ftp://www.purple.com/,http://www.purple.com/,http://www.purple.com/",
        "applicationBehavior": "-",
        "malwareCategory": "-",
        "fileName": "-",
        "SHA": "-",
        "bandwidth": 0,
        "policyType": "Access",
        "user": "10.10.5.105",
        "srcIP": "10.10.5.105",
        "relatedTransCount": 3,
        "malwareName": "-",
        "applicationName": "-",
        "policyName": "DefaultGroup",
        "threatType": "Business and Industry",

```

```

        "ampFileVerdict": "-",
        "destinationIP": "-",
        "userType": "[-]",
        "threatReason": "Marketing, commerce, corporations, business practices,
workforce, human resources...",
        "serialNo": "4229C3B46A609471867D-0720DA1A8A64",
        "wbrsScore": "No Score",
        "decisionSrc": "WEBCAT",
        "url": "ftp://www.purple.com/",
        "applicationType": "-",
        "timestamp": 1540263898,
        "transactionStatus": "BLOCK",
        "ampVerdict": "-"
    }
}
]
}

```

レイヤ4トラフィック モニタ

複数の属性を使用すると、マルウェアのサイトとポートへの接続に関する情報を取得することができます。

概要	GET /api/v2.0/web-tracking/web_transaction?resource_attribute	
サポート対象のリソース属性	詳細については、『 <i>AsyncOS 12.5 API - Addendum to the Getting Started Guide for Cisco Web Security Appliances</i> 』を参照してください。	
要求ヘッダー		Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー		Content-Type、Content-Length、Connection

例

次の例では、期間、フィルタリング、オフセットと制限、順序、およびトランザクションステータスのパラメータを指定して、レイヤ4トラフィックモニタによって処理されるトランザクションを取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```

GET /wsa/api/v2.0/web-tracking/web_transaction?startDate=2016-09-30T18:00:00.000Z
&endDate=2018-10-31T19:00:00.000Z&filterBy=14tm&filterOperator=is&limit=20&offset=0&device_type=wsa&orderBy=timestamp&orderDir=desc&transactionStatus=all&
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: 10.225.99.234:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
Date: Mon, 19 Nov 2018 14:58:11 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 12
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{
  "meta": {
    "totalCount": 20
  },
  "data": [
    {
      "attributes": {
        "l4tmDestDomain": "ticketbooking.com",
        "l4tmUser": "10.10.99.68",
        "timestamp": 1534143578,
        "l4tmPort": 443,
        "serialNo": "42292E04F63C3DE54F13-E5D7466DA42E",
        "l4tmDestIpWithDomain": "103.117.180.6@ticketbooking.com",
        "transactionStatus": "BLOCKED"
      }
    },
    {
      "attributes": {
        "l4tmDestDomain": "ticketbooking.com",
        "l4tmUser": "10.10.99.68",
        "timestamp": 1534143578,
        "l4tmPort": 443,
        "serialNo": "42292E04F63C3DE54F13-E5D7466DA42E",
        "l4tmDestIpWithDomain": "103.117.180.6@ticketbooking.com",
        "transactionStatus": "BLOCKED"
      }
    },
    ...
    ...
    {
      "attributes": {
        "l4tmDestDomain": "ticketbooking.com",
        "l4tmUser": "10.10.99.68",
        "timestamp": 1534143577,
        "l4tmPort": 443,
        "serialNo": "42292E04F63C3DE54F13-E5D7466DA42E",
        "l4tmDestIpWithDomain": "103.117.180.6@ticketbooking.com",
        "transactionStatus": "BLOCKED"
      }
    }
  ]
}

```

SOCKS プロキシ

上位宛先とユーザに関する情報を含む、SOCKS プロキシを通じて処理されるトランザクションに関する情報を取得することができます。

概要	GET /api/v2.0/web-tracking/web_transaction?resource_attribute
----	---

サポート対象のリソース属性	詳細については、『 <i>AsyncOS 12.5 API - Addendum to the Getting Started Guide for Cisco Web Security Appliances</i> 』を参照してください。	
要求ヘッダー		Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー		Content-Type、Content-Length、Connection

例

次の例では、期間、フィルタリング、オフセットと制限、順序、およびトランザクションステータスのパラメータを指定して、SOCKS プロキシサービスによって処理されるトランザクションを取得するクエリを示します。

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/web-tracking/web_transaction?startDate=2016-09-30T18:00:00.000Z&
endDate=2018-10-31T19:00:00.000Z&filterBy=socks_proxy&filterOperator=is&limit=20&offset=0&
device_type=wsa&orderBy=timestamp&orderDir=desc&socksTransportProtocol=all&transactionStatus=all&
HTTP/1.1
cache-control: no-cache
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: curl/7.54.0
Accept: */*
Host: 10.225.99.234:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Server: API/2.0
Date: Mon, 19 Nov 2018 14:53:33 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 6629
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken
```

```
{
  "meta": {
    "totalCount": 20
  },
  "data": [
    {
      "attributes": {
        "socksUser": "10.10.5.106",
        "socksBandwidth": 0,
        "socksUserType": "[-]",
        "timestamp": 1538044948,
        "socksTransportProtocol": "TCP",
        "socksPort": 80,
        "socksSrcIp": "10.10.5.106",
        "socksDestinationIp": "-",
        "socksPolicyName": "DefaultGroup",
```

```
        "socksHostName": "concede.fmtlib.net",
        "transactionStatus": "BLOCK"
    },
    {
        "attributes": {
            "socksUser": "10.10.5.106",
            "socksBandwidth": 0,
            "socksUserType": "[-]",
            "timestamp": 1538044948,
            "socksTransportProtocol": "TCP",
            "socksPort": 80,
            "socksSrcIp": "10.10.5.106",
            "socksDestinationIp": "-",
            "socksPolicyName": "DefaultGroup",
            "socksHostName": "erupt.fernetmoretti.com.ar",
            "transactionStatus": "BLOCK"
        }
    },
    ...
    ...
    {
        "attributes": {
            "socksUser": "10.10.5.106",
            "socksBandwidth": 0,
            "socksUserType": "[-]",
            "timestamp": 1538044947,
            "socksTransportProtocol": "TCP",
            "socksPort": 80,
            "socksSrcIp": "10.10.5.106",
            "socksDestinationIp": "-",
            "socksPolicyName": "DefaultGroup",
            "socksHostName": "boots.fotopyra.pl",
            "transactionStatus": "BLOCK"
        }
    }
]
}
```




第 3 章

汎用 API

汎用設定のクエリには、クエリ文字列の一部として **configure** リソース名が含まれます。設定情報の取得 (GET) と、設定データの変更 (POST、DELETE) を実行できます。

概要	GET /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp POST /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp PUT /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp DELETE /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp
サポート対象のリソース属性	詳細については、『 <i>AsyncOS 12.5 API - Addendum to the Getting Started Guide for Cisco Web Security Appliances</i> 』を参照してください。
要求ヘッダー	Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー	Content-Type、Content-Length、Connection

この章は、次の項で構成されています。

- [SMTP リレーホストの詳細の取得 \(43 ページ\)](#)
- [新しい SMTP リレーホストの追加 \(44 ページ\)](#)
- [SMTP リレーホストの詳細の変更 \(45 ページ\)](#)
- [複数の SMTP リレーホストの削除 \(46 ページ\)](#)
- [すべての SMTP リレーホストの削除 \(47 ページ\)](#)
- [ユーザ ロールにアクセス可能な API の取得 \(47 ページ\)](#)

SMTP リレーホストの詳細の取得

サンプル リクエスト

```
GET /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp
HTTP/1.1
Content-Type: application/json
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
```

```
User-Agent: PostmanRuntime/7.24.1
Accept: */*
Cache-Control: no-cache
Postman-Token: 4dd1c428-a4b7-4df9-94d7-7e29e4e0dd2d
Host: 10.8.159.34:6080
Accept-Encoding: gzip, deflate, br
Connection: keep-alive
```

サンプル応答

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 12 May 2020 06:10:34 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 129
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"res_data": {"routing_table": "Management", "relay_hosts": []},
"res_message": "Data received successfully.", "res_code": "200"}
```

新しい SMTP リレーホストの追加

サンプルリクエスト

```
POST /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp
HTTP/1.1
Content-Type: application/json
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.24.1
Accept: */*
Cache-Control: no-cache
Postman-Token: 30ad35bc-253d-4787-8e18-4cdfa3ff3d1f
Host: 10.8.159.34:6080
Accept-Encoding: gzip, deflate, br
Connection: keep-alive
Content-Length: 549
```

```
{
  "routing_table": "management",
  "relay_hosts": [
    {
      "host": "191.10.55.255"
    },
    {
      "host": "10.10.55.8",
      "port": "3"
    },
    {
      "host": "google1.com",
      "port": "13"
    },
    {
      "host": "ggtalk.com",
      "port": "11"
    },
    {
      "host": "google.com",
```



```

        "port": "35"
      },
      {
        "host": "google.com",
        "port": "37"
      }
    ]
  }
}

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 12 May 2020 07:08:30 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 215
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"res_data": {"add_failure": [], "add_success": ["10.10.55.8:3", "191.10.55.255:25",
"ggtalk.com:11", "google1.com:13", "google.com:37", "google.com:35"]},
"res_message": "Success:6, Failure: 0.", "res_code": "201"}

```

SMTP リレーホストの詳細の変更

サンプルリクエスト

```

PUT /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp
HTTP/1.1
Content-Type: application/json
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.24.1
Accept: */*
Cache-Control: no-cache
Postman-Token: 8c18cbba-8ff3-4993-a5f3-5562fd854fde
Host: 10.8.159.34:6080
Accept-Encoding: gzip, deflate, br
Connection: keep-alive
Content-Length: 537

{
  "routing_table": "management",
  "relay_hosts": [
    {
      "old_host": "google.com",
      "old_port": "35",
      "new_host": "google.com",
      "new_port": "37"
    },
    {
      "old_host": "ggtalk.com",
      "old_port": "11",
      "new_host": "10.10.194.12",
      "new_port": "23"
    },
    {
      "old_host": "10.10.194.12",
      "old_port": "28",
      "new_host": "10.10.194.12",

```

```

        "new_port": "27"
    }
  ]
}

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 12 May 2020 07:09:47 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 450
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"res_data": {"update_success": [{"relay_host_old": "ggtalk.com:11",
"relay_host_new": "10.10.194.12:23"}], "update_failure": [{"relay_host_old":
"google.com:35", "relay_host_new": "google.com:37", "err_message":
"Given new host or port is already exist."}, {"relay_host_old":
"10.10.194.12:28", "relay_host_new": "10.10.194.12:27", "err_message":
"Given old host or port is not found."}]}, "res_message": "Success:1,
Failure: 2.", "res_code": "201"}

```

複数の SMTP リレーホストの削除

サンプル リクエスト

```

DELETE /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp
HTTP/1.1
Content-Type: application/json
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.24.1
Accept: */*
Cache-Control: no-cache
Postman-Token: 282c385c-1804-4cd7-be25-5b62a923e175
Host: 10.8.159.34:6080
Accept-Encoding: gzip, deflate, br
Connection: keep-alive
Content-Length: 132

```

```

[
  {
    "host": "10.10.194.12",
    "port": "23"
  },
  {
    "host": "google.com",
    "port": "37"
  }
]

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 12 May 2020 07:14:00 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 150
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *

```

```

Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"res_data": {"delete_success": ["10.10.194.12:23", "google.com:37"],
"delete_failure": []}, "res_message": "Success:2,
Failure:0", "res_code": "200"}

```

すべての SMTP リレーホストの削除

サンプル リクエスト

```

DELETE /wsa/api/v2.0/configure/system/smtp HTTP/1.1
Content-Type: application/json
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.24.1
Accept: */*
Cache-Control: no-cache
Postman-Token: c1514e19-b401-499d-9b29-47ada4f6981e
Host: 10.8.159.34:6080
Accept-Encoding: gzip, deflate, br
Connection: keep-alive
Content-Length: 22

{
  "delete_all":true
}

```

サンプル 応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Tue, 12 May 2020 07:35:12 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 68
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"res_message": "Successfully deleted all hosts", "res_code": "200"}

```

ユーザ ロールにアクセス可能な API の取得

現在ログイン中のユーザが利用可能な API のリストを取得することができます。

概要	GET /api/v2.0/login/privileges
要求ヘッダー	Host、Accept、Authorization
応答ヘッダー	Content-Type、Content-Length、Connection

サンプル リクエスト

```

GET /wsa/api/v2.0/login/privileges HTTP/1.1
cache-control: no-cache

```

```

Postman-Token: 0cd8d318-e29b-40e0-bdc8-473f09cbd2b2
Authorization: Basic YWRtaW46aXJvbnBvcnQ=
User-Agent: PostmanRuntime/7.6.0
Accept: */*
Host: pod1224-wsa04.ibwsa.sgg.cisco.com:6080
accept-encoding: gzip, deflate
Connection: keep-alive

```

サンプル応答

```

HTTP/1.1 200 OK
Date: Sat, 11 Apr 2020 07:35:16 GMT
Content-type: application/json
Content-Length: 2342
Connection: close
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Headers: content-type, jwttoken, mid, h, email
Access-Control-Allow-Credentials: true
Access-Control-Allow-Methods: GET, POST, DELETE, PUT, OPTIONS
Access-Control-Expose-Headers: Content-Disposition, jwtToken

{"data": ["w_preferences_preferences", "w_config_user_dashboard", "w_config_cpu_threshold",
"w_config_memory_threshold", "config_detail", "w_reporting_web_webcat_detail",
"w_reporting_web_ytcat_detail", "w_reporting_domains", "w_reporting_web_user_detail",
"w_reporting_web_application_type_detail", "w_reporting_web_malware_category",
"w_reporting_web_user_by_traffic_monitor", "w_reporting_web_amp_detail_by_filename",
"w_reporting_web_wbrs_score_detail",
"w_reporting_web_malware_name_malware_category_detail",
"w_reporting_web_application_name_application_type_detail", "w_reporting_web_port_detail",

"w_reporting_web_host_by_traffic_monitor", "w_reporting_web_amp_summary",
"w_reporting_web_amp_detail_summary", "w_reporting_web_amp_file_analysis_by_filename",
"w_reporting_web_wbrs_threat_type_detail", "w_reporting_users_by_app_type",
"w_reporting_web_socks_destinations", "w_reporting_web_user_application_detail",
"w_reporting_web_socks_users", "w_reporting_users_by_category",
"w_reporting_web_services_summary",
"w_reporting_web_application_type_application_name_detail",
"w_reporting_web_user_webcat_detail",
"w_reporting_web_user_amp_detail",
"w_reporting_web_user_malware_name_malware_category_detail",
"w_reporting_policy_by_user", "w_reporting_web_malware_category_malware_name_detail",
"w_reporting_web_users_by_sha_detail",
"w_reporting_web_malware_category_malware_name_user_detail",
"w_reporting_web_filenames_by_sha", "w_reporting_web_amp_reputation_update",
"w_reporting_users_by_app", "w_reporting_web_application_name_detail",
"w_reporting_web_application_name_application_behavior_detail",
"w_reporting_web_transaction",
"w_reporting_web_transaction_type", "w_reporting_web_cipher_detail_client",
"w_reporting_web_cipher_detail_server", "w_reporting_web_reporting_system",
"w_percent_cpu_utilized",
"w_percent_ram_utilized", "w_percent_disk_utilized", "w_system_uptime", "w_alerts",
"w_disk_usage",
"w_raid_status", "w_proxy_cpu_usage", "w_proxy_disk_io_util", "w_proxy_status",
"w_high_availability",
"w_proxy_traffic_characteristics", "w_system_cpu_usage", "w_system_memory_usage",
"w_bandwidth",
"w_rps", "w_cpu_usage_by_function", "w_server_connection", "w_client_connection",
"w_bandwidth_count",
"w_rps_count", "w_decryption_count", "w_services", "w_web_tracking_web_transaction",
"ctr_token",
"ctr_client_info"]}

```



第 4 章

AsyncOS API のトラブルシューティング

この章は、次の項で構成されています。

- [API ログ \(49 ページ\)](#)
- [アラート \(49 ページ\)](#)

API ログ

[システム管理 (System Administration)] > [ログサブスクリプション (Log Subscriptions)] を使用し、API ログを有効にして登録します。詳細については、『AsyncOS 11.8 for Cisco Web Security Appliances』またはオンラインヘルプを参照してください。

次に、API ログに記録されたイベントの一部を示します。

- API が起動したか、または停止したか
- API への接続に失敗したか、または閉じたか (応答提供後)
- 認証が成功したか、または失敗したか
- 要求に含まれるエラー
- AsyncOS API とのネットワーク設定変更通信中のエラー

アラート

AsyncOS APIに関連するアラートを送信するようにアプライアンスが設定されていることを確認します。以下の場合にアラートを受信します。

アラートの説明	タイプ	重大度
エラーが原因でAPIが再起動されました	システム	警告

